家族会探訪

【北中城村精神療養者家族会・設立準備会】

日時：毎月第１金曜日・午後２時～４時
場所：北中城村社会福祉センター
☏ 080-5098-8903（谷川）

「妻の病気についてまったくなにもわからないから、知りたい気持ち」

谷川文男さんが家族会に参加しようと思ったそもそもの動機には、そんなふうなことがあったそうです。32年前、脳神経外科の病院で働いていた妻が、前触れもなく精神の病を発症しました。

わからないから知りたいと思った谷川さんはたくさんの本を読み、また情報を得るため勉強会などにも積極的に足を運ぶようになりました。

有名な専門家が支援している集まりに参加したこともありましたが、大人数すぎて一人一人が話をする時間もなく、谷川さんとしては自分の求めているものとは違うと感じたそうです。病院の家族会にも顔を出していますが、お世話になっているその同じ病院に対する不満や疑問などは、どうしても口をはばかられる部分もあって、そこにはやはり少しの違和感がありました（谷川さんはそれでも、努めて言いたいことをはっきり言うほうでしたが）。

一方の地域家族会は病院や専門家がお膳立てしてくれることもないので、自分たちで主体的に動かなければなにも始まりません。話す相手も同じ家族なので、病院家族会などに比べると専門的なアドバイスがもらえるわけでもなく、抱えている問題がその場で解決されるということも正直あまりないかも知れません。基本的にできることは、話を聞くことと、話を聞いてもらうことだけです。谷川さんが、自分たちの住む北中城村で新しく始めようとしているのは、そういう地域家族会です。

谷川さんのお話を聞いていて、「わからない」がキーワードとして心に残りました。

家族の病のことがわからない、どこに相談していいのかわからない、使える制度のことがよくわからない。専門家の先生はこう言うけれど、自分たちのケースには当てはまらないように感じるし、やっぱりそれぞれ違っていてわからない……。

立ち現れるそういう「わからなさ」のなかで、「わからなさ」を分かち合う場所としての家族会もあるかも知れません。**（次のページへ）**